

100万人国会請願署名を実施

中央建設業審議会・社会資本整備審議会基本問題小委員会中間とりまとめ(概要) 令和5年9月19日決定

- 建設業が持続的に発展していくには、新規入職を促進し、将来の担い手の確保・育成を図ることが不可欠。
- 同時に、顕下の課題である賃付価値高騰や長時間労働規制に適切に対応しつつ、適正な請負代金・工期が確保された請負契約の下で、適切に建設工事が実施される環境づくりも欠かせない。
- こうした問題意識の下、①請負契約の適正化による適切な労務費等の確保や資金行き渡りの担保、②魅力ある就業環境を実現する働き方改革と生産性の向上、などの分野について、建設業法等の改正も視野に緊急に講ずべき施策を取りまとめ。

1. 請負契約の適正化による適切なリスク分担	2. 適切な労務費等の確保や資金行き渡りの担保
<p>(1) 契約における非対称性の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発注者によるリスク情報提供の義務化 ・ 見積り時等、建設工事に関するリスク情報の受注者から発注者への提供を義務化 ・ ②オープンブック・コスト方式の標準請負契約の制定 <p>(2) 価格変動等への対応の契約上での明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 請負代金の必要に応じて規定された民間工業標準約款の利用促進 ・ 価格変動に伴う請負代金の変更事項を契約書上明確化 ・ 労務費変動を反映して価格変動が生じた場合に請負代金等をどのように変更するかを定めること <p>(3) 当事者間のコミュニケーションと請負契約の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 請負代金や工期にずれが生じた場合に契約の当事者間で協業に励むこと ・ 民間事業者への報告等 ・ 不当に低い請負代金での契約締結について、国土交通大臣等の報告対象に、公正法廷審判だけでなく民間事業者を含める ・ 不適切な契約適正化のため許可行政の権限体制整備 	<p>(1) 適正な工期の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 受注者による遅延工期の禁止 ② WLBを実現する働き方改革に關する取組検討 ・ 工期に對する基準等の周知に加え、発注者の適切な働き方策を奨励 <p>(2) 生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 建設工事現場を適切に管理するための指針の作成 ・ ICTの活用等による現場管理の効率化の促進が作務、特定建設業者に同指針に即した現場管理に努めることを求める ② 整理技術匠等の合理化

※今後、閣下階機連の実態を踏まえた建設機許可の合理化、業種に応じた労働力の供給確保や多能工の確保の許可を画しないが、建設機許可の適切な管理に努めること。

私たちの要望事項

- 建設労働者の雇用改善、能力開発の推進及び向上を図ると共に、高い水準の賃上げに向けた環境整備に努めること。
- 建築大工をはじめとした若年者等の入職・定着を促進し、建設業の担い手確保・育成を推進すること。
- 建設キャリアアップシステムの普及促進を図ること。

を実現する働き方改革と生産性向上について検討されており、9月19日の中間とりまとめ(別紙参照)を受けて、2024年には建設業法等の改正が見込まれます。

このような情勢のもと、建設業では以下の3点を要望事項として国会に請願し、この取り組みを当県連でも取り組むこととしますので、請願書署名について皆様のご協力をお願いします。

第42回県連地区対抗ソフトボール大会 福野チームが優勝!!

開催日: 8月27日(日) 場所: 富山市婦中町羽根ピースフル運動公園



第42回県連地区対抗ソフトボール大会が8月27日(日)、富山市婦中町羽根ピースフル公園で開催されました。

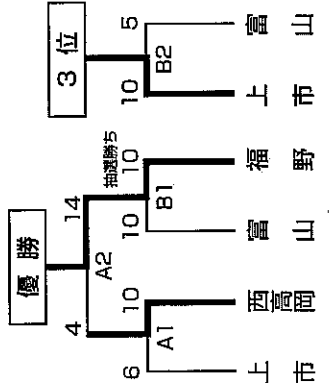
本大会は令和元年度の実施以来、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3年間開催を中止しており、4年振りの開催となりました。

参加チームはそれぞれ地区予選を勝ち抜いてきた、上市、富山、西高岡、福野の精鋭4チームで、トーナメント形式で試合を行いました。

当日は連日続いていた猛暑日も途切れたものの、30℃を超えるなかでの試合となりましたが、試合に臨んだ選手たちの見せる、暑さを感じさせない好プレーに対し、観客から惜しみない応援の声が寄せられ、会場は大いに盛り上がりました。

対戦結果については、別表のとおり福野チームが接戦を制して優勝し、最優秀選手に福野チームの米原孝騎さんが選ばれました。

団体賞	
優勝	福野チーム
次位	西高岡チーム
三位	上市チーム
個人賞(敬称は省略)	
最優秀選手賞	米原 孝騎 (福野)
個人敢闘賞	宮本 宏志 (福野) 牧田 英治 (西高岡) 高田 衛 (上市) 船 誠 (富山)



職人さんほ出会う日開催

職人さんに出会う日のイベントが県内12か所の会場で、8月20日(日)に開催され、親子連れが椅子づくりなどの工作を楽しみました。

青年部幹事会での総括では、当日は非常に暑かったことや、3年間開催されなかったことによる知名度不足により参加者が少なかった会場がある一方、他のイベントとの開催にともなう相乗効果で、用意していた工作キットが開封早々になくなる会場もあるなどの実態報告があり、次回開催に向けての課題として検討する必要があることを確認しました。

しかしながらこのイベントは、子供たちに工作の体験を通して職人の仕事を知ってもらい、職人の技術と心意気を示す貴重なPRの機会であることから、今後も多くの組合員の応援のもと、課題を検討・対応しながら、青年部を中心に引き続き開催していきましょう。



砺波会場



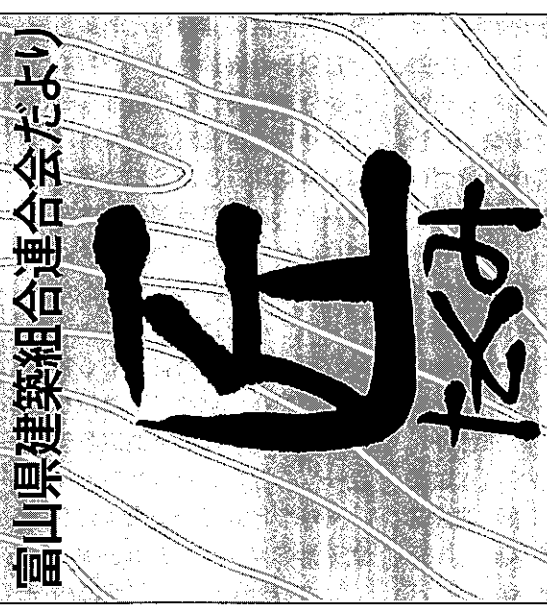
朝日会場



舟橋会場



魚津会場



富山県建築組合連合会だより

No.216
令和5年
10月23日

発行所 富山県建築組合連合会
事務所 富山市西荒原25-4
☎076-428-8255

発行責任者 根塚 三起生
編集責任者 広報委員会

当県連では、組合員の相互扶助による組合員のための福祉向上を目的に、共済活動として、こくみん共済c.o.o.pの共済制度の取り組みを行っています。とくにスクラム共済は、上記目的の観点から組合員全員に加入いただいております。この共済活動はこくみん共済c.o.o.pからの委託にもとづく共済代理業務ではなく、当連合会の組合員のために行う共済活動であり、共済契約等にかかわる事務手続きは、組合員からの委任にもとつき県連ならびに県連の支部である地区建築組合の

事務局が代行しています。また個人情報の取扱いについては、こくみん共済c.o.o.p、県連、地区組合事務局とも個人情報保護法にもとつき、厳重に取扱っています。なお掛金の支払については、スクラム共済、交通災害共済、住まい共済は地区組合、県連を通じて支払い、その他共済は組合員の個人人口加入となっておりますので、ご留意ください。事故や災害に遭わないことこそしたことはありませんが、万一、事故や災害等共済金の支払事由が発生した場合は、地区組合またはこくみん共済c.o.o.pへ連絡をお願いします。

共済活動 県連による自発的な活動

- ①利用の促進(福祉向上を前提)
 - ②情報提供(商品概要の説明を含む)
 - ③加入申込書提出代行
 - ④共済掛金納入代行
 - ⑤共済契約証書の配布
- 組合員からの委任にもとづいて行なう

スクラム共済(慶弔・火災・FA型10口+交通災害共済10口)の保障額 (単位:円)

保障内容	保障額
交通事故による死亡	1,000,000
交通事故による障がい(重度障がいを含む)	最高1,000,000 最低40,000
交通事故による入院	日額2,000 最高180日 入院4日目まで
交通事故による通院(最高90日)	日額1,000
火災	1,000,000
落雷、ガス爆発、車両の飛び込み等を含む	最高900,000 最低500,000
※落雷は別基準あり	最高300,000 最低50,000
全壊・流失	300,000
半壊	150,000
床上浸水	最高150,000 最低10,000
一部壊(損害額100万円以上)	30,000
一部壊(損害額20万円以上)	10,000
全損	200,000
大規模半損	120,000
半損	100,000
一部損	20,000
地震による損害	月払い掛金
※地震災害見舞金含む	150

県連における共済活動について



こくみん共済c.o.o.p共済の共済事務に関する研修会が、8月23日(水)に各支部から事務担当者23名が出席し、県連2階会議室で開催されました。研修会の開催にあたり山本浩二広報委員会委員長から開会挨拶を受け、こくみん共済c.o.o.p富山推進本部富山支所の田中利幸氏よりスクラム共済、任意

こくみん共済c.o.o.p(全県) 共済研修会開催される

●共済加入状況(2023年7月末現在)

種別	共済名	件数	前年
スクラム共済	スクラム共済	3,881	3,979
	住まいる共済	141	163
	自然災害共済	51	52
	交通災害共済	83	95
	終身共済	2件	2
任意共済	個人長期共済	15	20
	こくみん共済	62	59
	マイカー共済	95	89
	小計	4,277	4,507

●共済金支払状況(2022年8月~2023年7月)

種別	共済名	件数	支払金額	前年金額
スクラム共済	慶弔(火災)共済	3	90,000	10,000
	交通災害共済	5	237,000	413,000
	小計	8	327,000	423,000
	火災・自然災害共済	0	0	172,500
	こくみん共済	4	150,000	1,530,000
任意共済	総合医療共済	0	0	0
	個人せいめい共済	1	1,000,000	死亡
	マイカー共済	7	860,309	対人、対物、人身傷害、車両、弁護士
	小計	12	2,010,309	13
	合計	20	2,337,309	16

★マイカー共済のみ共済金支払状況は、2022年6月~2023年5月までの実績を集計



わか町(在所)のふるさと自慢 朝日町

朝日建築組合がある朝日町は、富山県の東端の入り口にあり、海と山に囲まれた人口約一万人の町です。三〇〇〇mの山々が連なる北アルプスが周辺にそびえ、最高峰の白馬岳からトスイ海岸までは、直線距離で30km。非常にコンパクトながら深海一〇〇〇mから標高二、〇〇〇mまでのダイナミックな自然・地形環境に恵まれています。春には残雪の白馬・朝日岳の北アルプスを背景に、約二八〇本のソメイヨシノの桜並木とチューリップ、菜の花が咲き誇る奇跡の農村風景が楽しめる、あさひ舟川「春の四重奏」が有名です。また「シヤ

クナゲ寺」と呼ばれる境地区の護国寺は、四月にシヤクナゲ、五月にツツジ、六月にはサツキと色とりどりの花を楽しめます。秋の紅葉もとても素晴らしく、池泉回遊式庭園をのんびり散策するのもいいですね。そして朝日町の郷土料理といえば「たら汁」。たら汁街道と呼ばれる国道8号線沿いには、各店自慢のたら汁が楽しめます。スケンウタラを一匹まるごとぶつ切にして、身、頭、肝、白子、真子を使って豪華に煮込まれた「たら汁」は郷土料理としてその味を守り継がれています。その他にも富嶺地区の雅児舞、各地区の獅子舞は見応えがあります。人と人をつなぐ農村の文化、閉居裏を閉んでバタバタ茶会など受け継がれてきた心豊かな暮らしをこれからも大切に継承していきたいものです。まだまだ紹介したいことがたくさんありますが、海もあつて、山もあつて、自然の恵みにあふれ、素朴でどこか懐かしい雰囲気漂う富山の東の入り口、朝日町。訪れるとたくさんのお会いと感動が待っていますよ。(投稿/朝日支部 田中 良)

インタビュー 棟梁に聴く

下請けは受けず、元請け手刻みの仕事で

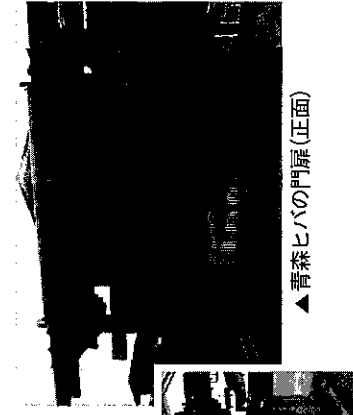
高岡地協 氷見支部 西川 清昭さん



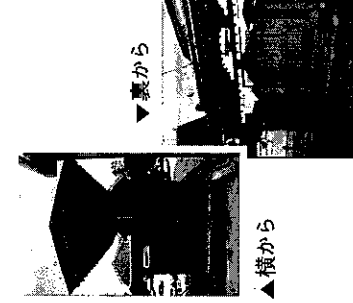
Q 大工になった経緯を教えてください。
A 学校卒業後、運転手などをしていましたが、24歳の時に父が亡くなった。瓦職人をしていた従兄弟にならって自分も手に職を付けようと、大工を志した。
Q 中卒や高卒の10代で弟子入りするのが当たり前の大工の世界で、24歳と高齢の自分はなかなか受け入れ先が見つからず苦労したが、当時の親方だけが弟子入りを承諾してくれ、無事に修行を始めることができた。
Q その後の独立は?
A 弟子入りして8年ほど経った頃、親方が急死し、意図せず独立することになった。親方の元で経験を積んでいたとはいえ、まだ修行中の身であつたことから、独立への不安を感じていたが、ちょうど結婚した妻の兄がたまたま大工をしており、一緒に事業を始めた。
Q 昔は仕事も従業員も多くいた頃もあつたが、現在は弟子2人のほか、息子が設計を担当。受注は元請けのみで、プレカットではなくすべて手作りの手刻み。お客さんにとっても安くあがる。下請けは金額面のほか時間や制約が厳しく、他の仕事との折り合いが付かないため、受けていない。
Q 印象に残っている仕事を教えてください。



▲漆喰の白壁に付け柱が美しい住宅



▲青森ヒバの門扉(正面)



▲横から

一般住宅で印象に残っているのは、施主の希望で漆喰づくりの白壁に付け柱が特徴の住宅。手刻みでの施工を希望されてきたが、この頃は非常に忙しかつたため、残念ながらプレカットでの施工となった。他には、木目と造作が美しい門扉。高級木材の青森ヒバをふんだんに使用し、製作費一千万円もの贅沢を造り、住宅を囲む塀も合わせて施工した。住宅以外では、指名され施工した鳥居や、祭りの山車(3尺×4尺)など。山車は全部で各町の5台ほど製作した。

賃金実態調査結果について

賃金実態調査は全建総連が組合員の労働実態を把握し、国会や関係省庁への陳情、要請活動における基礎資料とすることを毎年、全国の組合員を対象に実施しているものです。

本県では2年に一度、実施しており、本年は2023年5月または6月のうち1カ月を対象に実施し、1,279人の組合員より回答いただきました。

調査結果については、紙面の制約により詳細は掲示できませんが、賃金等に関しては令和3年度、令和元年度と比較して、概ねゆるやかな上昇傾向にあることが見て取れます。(別表参照)

この賃金上昇の流れを確実なものとするため、全建総連では「持続可能な建設業の実現に向けた100万人国会請願署名」を行うこととしており、組合員の皆様の協力をお願いします。

また賃金実態調査についても、継続的な実態把握の観点から、毎年の実施も検討しますので、引き続き、協力いただきますようお願いいたします。

【労働者】日給制の人は、1日あたり (単位:円)

	R5	R3	R1
労働者	15,509	13,997	13,892

【一人親方・手間請】 (単位:円)

	R5	R3	R1
1日 (a)	20,677	20,279	20,262
総費 (b)	2,934	2,329	2,540
賃金 (a)-(b)	17,992	17,950	17,722

組織拡大をめざして

全建総連 組織部長 竹谷 英幸

23年6月末の組織基本調査では、残念ながら実増を勝ち取れず、61万4,090人(昨年同月比7,845人減)となりました。しかし、厳しい状況にありながらも、10県連・組合が増勢を果たすとともに、減少傾向に歯止めをかけるなど、秋の拡大月間に向けた機運は出ています。

組合をめぐる情勢としては建設就業人数が減少する中、建設国保の3つの危機(国保組合補助制度の見直し、被用者保険の通用拡大、保険証廃止による帰属意識の低下)、2025年問題(団塊の世代が後期高齢者医療制度への移行完了)等もあり、「建設国保依存型からの脱却」と「若年層と事業所拡大」を進めなければ組織存続の危機に直面しかねません。

10年後、20年後を見据え、持続可能な組合とすべく、CCUS登録などの多様化した要求に応える拡大へ移行し、深刻化を増す高齢化、その克服のための「若年層拡大」への挑戦と「事業所の育成・強化と拡大」の好循環を作り出すべく、「若年層と事業所拡大」を本気で進めて行く必要があります。そのため、組合員訪問と組織内事業訪問を行い、仲間の困りごとを聞き出し、組合が共に問題解決していく姿勢を見せることで、仲間からの信頼を高め、仲間が仲間を呼び好循環を作り出していかねばなりません。

また、対面行動を拡大行動の基本とした上で、第2段階として、若年層の拡大や組合の認知度と信頼を一層高める必要があります。そのため、デジタル・IT(インターネットやSNS)の力を活用し、外部からの対象者の流入を加速させるなど、デジタル・ITとリアルを融合させた拡大方法を表裏し、組織拡大の新たな原動力とし、あらゆる運動を総動員して総合的な拡大運動を展開する事が重要となります。

更には、拡大行動や組合事業を支援し、共に行動する。プロの活動家である書記局・専従者の育成強化は更に重要となります。特に拡大行動は役員と書記局の両輪で進めなければ「拡大は出来ない」という事が全国の仲間の経験から証明されています。

現在、多くの組合では、5つの不足(行動、情報、想像、人材、情熱)の事態に直面しており、この事態を打開するためには、「行動」を起こすしかありません。

この秋の月間は、感染症法上の位置付けが5類に移行し、コロナ共生への社会的容認度が更に高まりを見せ、「行動しない理由が無い」中での取り組みとなります。富山県連においても、組合員訪問、事業者訪問に挑戦し、仲間に関わり深い、悩みを引き出すなど、仲間を同時に推し進めていくことが富山県連の未来となります。拡大手法の導入など、脱退防止と組織拡大・強化を同時に推し進めていくことが富山県連の未来となります。

組合を良くするのも、悪くするのも、皆さん一人ひとりの目覚めの問題です。建設業を取り巻く様々な厳しい情勢の中で、「組織拡大・強化」の実現のためには、富山県連の仲間の力が今まさに必要となっています。ぜひ、皆さんの豊かな経験と知識、そして行動力を組合に貸していただきたいと思っております。様々な課題を正しく認識しながら対応を図り、全力で組織拡大を展開し、この秋の拡大月間を成功させましょう。

北信越地協のトッパーとして、富山県連の役職員、更には組合員の仲間の奮闘に期待します。共に頑張りますように。

全建総連 組織部長 竹谷 英幸

政府は「マイナンバーカードと保険証の一体化」の中で、令和6年秋から保険証交付を廃止する方針を打ち出しました。しかし、保険証交付の廃止は、私

たちがこれまで築き上げてきた保険者機能の低下を招き、保険証を介して仲間とつながる機会を失い、組合の組織機能を損なうことから、国保組合の育成・強化と保険証交付存続を求める運動として全国の仲間と共に60万人要請署名に取組んだ国保分(3,142枚3,412筆)を要請先(厚労省保険局長宛)へ9月25日に投函しました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

保険証の交付存続を 求める60万人要請署名

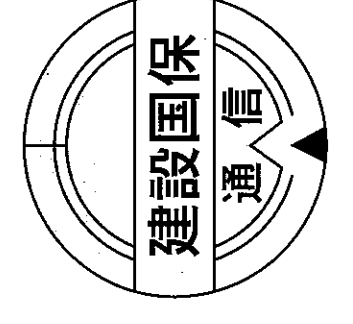
政府は「マイナンバーカードと保険証の一体化」の中で、令和6年秋から保険証交付を廃止する方針を打ち出しました。しかし、保険証交付の廃止は、私

新型コロナウイルス感染症 治療の窓口負担が発生

新型コロナウイルス感染症治療薬は、これまで全額が公費負担でしたが令和5年10月より治療薬の薬剤費として窓口負担が増えます。(医療費の自己負担割合に応じて上限額が3割負担の方は9,000円、2割負担の方は6,000円、1割負担の方は3,000円となり、この額を超えた分は公費負担となります。)なお、薬剤費以外の医療費は通常医療と同様の自己負担となります。

2024年度国保組合関係 予算確保に向けた要請行動

厚労省が提出した2024年度国保組合関係概算要求額は、2732.5億円で前年当初予算比27.1億円の増額となりました。しかし、年末の予算編成では財政制度等審議会や骨太方針2023における改革工程表の影響により現行補助制度及び補助水準確保が厳しい情勢にあることから、我々の強い思いを厚労省と財務省へ訴える「ハガキ要請行動(秋)」に取組みます。組合員の皆様のご協力をお願いします。



インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月~12月の間に接種されたものに限り、1人2,000円を上限として申請できます。(年度内1回のみ)

※2回法(*)の場合は、総費用のうち2,000円を上限とします。なお、接種料が2,000円未満の場合は、その接種料が助成金額となります。 ※申請は、年度末(3月末)までの提出にご協力をお願いします。

申請方法

①インフルエンザ 予防接種補助申請書 + ②以下のいずれかを添付(コピー可)

- 領収書(「インフルエンザ」の記載あり)
- 領収書(「インフルエンザ」の記載なし)+明細書
- 請求書兼領収書

●地域組合の事務担当にお問い合わせください。 ●保険証番号ごにまご記入ください。

申請書提出先

上記①②を、所属の地域建築組合へ提出してください。

申請書の記入方法

建設国保の申請書は、1人につき2回分を記入できますが、これは、2回法(*)を想定してあるためです。(2回法については、下記参照) 1回のみ接種される場合は、2回目の日付は未記入でご提出ください。 また、2回法で予防接種を受けた場合は、必ず2回分まとめて申請してください。

*2回法について(厚生労働省より) 13歳以上の方は原則1回接種、13歳未満の方は原則2回接種を推奨されています。

<特定健診の対象年齢の方>

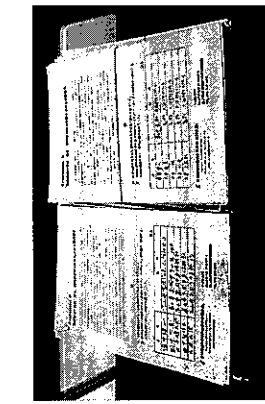
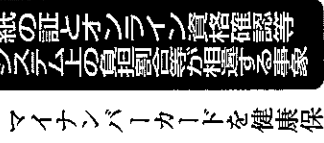
マイナンバーで特定健診の情報が見られるようになりました

マイナンバーカードの保険証利用登録を行った方は、令和2年度以降に受診した特定健診等の結果を、マイナンバーで閲覧することができます。ご自身の健康管理にご活用ください。

閲覧が可能になる時期：受診の2~3か月後

※健診情報提供の有無等により、前後する場合があります。

※建設国保へ情報提供され、特定健康診査の項目が揃っている方に限ります。



令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

国保組合員資格 確認調査の実施結果

令和5年度は、国からの「組合員資格の適正化」指導に基づき従来からの調査項目に加え、監事会の意見を踏まえて「労災加入の点検」を追加しました。一部の組合員の皆様には負担を求めることになったかと思えます。この機会に未加入者には労災保険特別加入の必要性等を説明させていただき新たに多くの方に加入して頂くことができました。ご理解・協力ありがとうございました。

建設国保への加入、脱退の届けは、速やかに行ってください。

組合員や家族の脱退など異動の届けについては、国民健康保険法施行規則で、社保等の加入日から14日以内に国保組合に行うよう義務付けられています。なお、被保険者証は自動的に切り替わりませんが、脱退の手続きが必要で、脱退届の提出が遅れ、3カ月を超えた場合は、保険料の返還は3カ月分のみとなりますのでご注意ください。 ※資格喪失後に国保の被保険者証が使われた場合には、医療給付費を返還していただくこととなります。



ものづくりやデザインを 楽しさを伝えたい



澤井 峰春
(新川地協 立山支部)

立山支部で青年部長をしている澤井峰春です。青年部長を務めるのが二度目の再登板になります。立山支部も他の地協と同じように若手不足は深刻で、かつ、組合員の協力姿勢も乏しい現状に危機感を抱いています。コロナ禍でさらにこの危機感は加速したかのようになっています。ただ、危機感を憂いても仕方がないので、僕は役目を引き受けたからには自分のやりたいことをできるように心がけています。

僕は「ものづくりの楽しさ、デザインの楽しさ」を少しでも地域に伝えることができればいいなと思っています。自身が二児の父ということもあり、その想いは次世代の子供たちにも伝えたい気持ちが強いです。

立山支部では「職人さんに出

会う日」以外にも、商工会議所主催の「立山祭り」に参加してものづくりワークショップを行っています。

一度目の任期時は、さしがね術を活かした正八角形の描き方を展示し、正八角形の天板を使ったスツールを制作しました。沢山の木の種類に触れてもらえるように、12種類の木を用意して、埋木(タボ)を文字盤とした時計作りも挑戦しました。

再登板の今年度は、「折りたたみ収納式で持ち運べるいす」をデザイン・提案して、いすづくりワークショップを行いました。幸い、どのワークショップも列がつくほど完売御礼で、楽しそうに満足そうな子供たちの笑顔を見れると、頑張つてよかったなど励まされた気持ちになりました。リピーターになってくださったこと嬉しかったです。

表向きは子供向けのワークショップとはいえ、僕は制作物にデザイン性を加えることで大人も子供も一緒に楽しんで制作してもらい、日常生活でも使ってもらえることを目的としています。ねらいとしては大成功でした。個人ではここまでのワークショップはできないけれど、建築組合や協力していただける皆さんのお力添えのおかげで実現できたことだと思つて感謝しています。

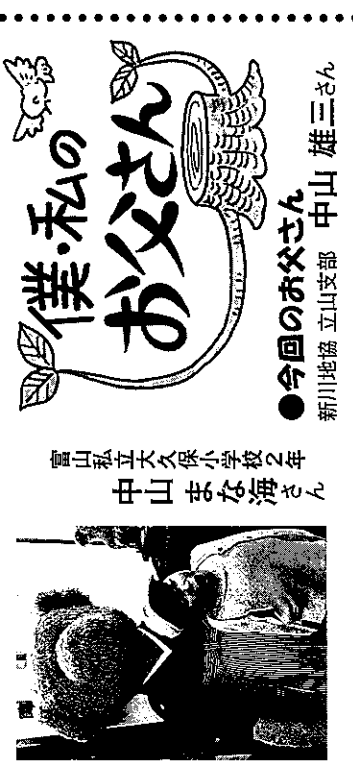
ものづくりの楽しさやデザインの楽しさに実際に触れて学ぶことは、住まいや暮らしについて考える「住教育」にも繋がると思っています。「住教育」はまだまだ認知されていない言葉ですが、「衣・食・住」の言葉からも連想できるように、この3要素は生きるうえで非常に重要であり、「住」を考えることは学校ではまだまだ教えてくれない分野です。「住」の分野に携わっている自分だからこそ、「住」に繋がる「ものづくりの楽しさ、デザインの楽しさ」を身の回りに伝えていくことで、興味・関心をもつ人が一人、また一人と増えてくれたらいいなと思っています。そして、将来ものづくりや建築の道に進んでくれる子供たちに少しでも繋がつたらいいなと期待しています。この活動は自分の青年部長としての任期が終わつても、ライフワークとして細々と続けていきたいなと思っています。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

●物故会員名
令和5年7月21日(土)10月10日

支部	氏名	年齢
岩瀬	吉野 良三	64歳
般若野	三屋 勝治	70歳

以上2名
心よりご冥福をお祈り申し上げます。



富山私立久保小学校2年 中山まな海さん

わたしのおとうさんは、大工さんです。

わたしのおうちば、おとうさんがつくってくれました。1かいだての木木のかおりがぶんぶんするおうちです。前にすんでいたアパートとちがって、かくれる場所がいっぱいあるので、かくれんぼが楽しいです。ぐるぐる走り回れるようになっていて工夫しているなと思いました。

クロスワードパズル

- タテのキー
- ①○○○○は発明の母
- ②古くなくった機械に由来
- ③イガに包まれた秋の果実
- ④1965年に発見された西表山猪が生息する県
- ⑤アジウムやポロニウムを発見してノーベル賞を受賞した夫妻
- ⑥1502年にアメリカ大陸を発見したイタリアの航海者
- ⑦ルネサンスの三大発明といえは火薬、羅針盤と活版
- ⑧カローザスが発明したデュポン社が発売した合成繊維
- ⑨ダイナマイトも減多にお目にかかれたいといわれるオニイモキエイ
- ⑩マクロームが発明された1812年は日本では○○時代
- ⑪「なつかぬか発明品が完成しないよー…」
- ⑫発明家のもとに参上して手伝いをしてくれる人
- ⑬1871年から発端を開始しシェリマンが発見した○○○○の遺跡
- ⑭お殿様が住む建物
- ⑮オオムラサキ
- ⑯東洋新航路を発見したポルトガルの航海者バスコダガマ
- ヨコのキー
- ①エレキテルや乗降計を発明した戯作者○○○源内
- ②発明王エジソンが発明したレコードプレーヤー
- ③避重針を発明したフランクリンが雷の実験の際に空にあげたもの
- ④日が発明品である電話はまだ聞かない時
- ⑤淡紅色のアイン
- ⑥ワットの発明したワット合金に含まれる柔らかくて展性に富む金属
- ⑦ノバスやタケシの料金
- ⑧泥濘を舗えて○○○をなう
- ⑨野暮なこと
- ⑩1895年にレニントゲンが発見した○○○○線
- ⑪アプスートルー
- ⑫1000kgで○○○
- ⑬エジソンが発明した白熱電球のフラグメントに使用された植物
- ⑭伴奏音楽に合せて泳ぎ美しさを競う水中競技
- ⑮1820年にメロス島で発見された大理石の女性像○○○のフィギュラス
- ⑯1866年にノーベルが発明した、ニトログリセリンを原料とする爆薬

偉大な発明・発見 ～こうして科学が進歩してきた～

解答欄

A	B	C	D	E	F
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

●先回の解答 シーラカンス
●当選者 厳正な抽選の結果、次の5名の方に決定しました。(敬称略)

光瀬 美米(富山) 下関美和子(富山)
高瀬 啓子(魚津) 西谷 隆志(西高岡)
大門 俊文(福野)

●応募方法 A～Fの文字を順番に並べてきた言葉(解答)と郵便番号・住所・支部名・氏名・年齢・電話番号を記入の上、下記までお送りください。FAXでも受け付けます。5名様(正解者多数の場合は抽選)に1,000円分の図書券を進呈します。解答と当選者は11月27日まで発表します。

●応募締切日 令和5年11月30日(木)消印有効

●送付先
〒939-8251 富山市西荒屋25-4
富山県建築組合連合会 クロスワードパズル係
・FAX:076-428-8277

全建総連

第39回全国青年技能競技大会が開催される

全建総連主催の第39回全国青年技能競技大会が9月16日(土)から18日(月)に埼玉県熊谷市「彩の国くまがやドーム」で、全国から28県連・県労組、55名が参加し開催されました。本県代表として石田肇氏(小矢部支部)「可西大工」所属)が出席し、競技課題である「四方転び踏台」に取り組み、付添いとして根塚県連会長と宮永県連副会長(教育指導委員長)が参加しました。



競技結果は惜しくも入賞には至らなかったものの、根塚会長によれば、石田氏を含め出場者の技術レベルは全般的に非常に高く、いずれも甲乙つけがたいものであったとのことでした。

また若い大工が一つの会場に集い、共通の課題に一心不乱に取り組み姿は独特な緊張感を感じさせるものであり、この感じを多くの若い大工の皆さんに経験してもらいたいとの想いが根塚会長、宮永副会長より寄せられました。

今年度は県連での予選会・勉強会には4名が参加し、全建総連の規定により1名の本戦出場となりましたが、県連の活動を盛り上げる意味でも、来年度は複数名の本戦出場を目指し、より多くの方が予選会・勉強会に出場されるよう、関係各位の協力を願っています。

